

平成24年度

# 農業振興公社ニュース

第19号

当公社では、本県農林水産業が有する潜在力と特長を活かした多様な形態の農商工連携や6次産業化を推進するとともに、農林漁業者等の経営力強化を図るため、県内の関係機関と共催して、経営者のスキルアップや県民へのアグリビジネスに対する理解の醸成を目的に研修会や交流会を開催しておりますのでご紹介します。

**「全国キャラバン」！  
食の発掘商談会「宮崎」の開催  
(九州・沖縄地区での取組)**



- ① 日程…平成25年1月17日(木) 18日(金)
- ② 主催…㈱JTB西日本 (共催…公社)
- ③ 会場…シーガイアコンベンションセンター
- ④ 目的…六次産業化法の認定商品や九州地域で開発された安全・安心で質の高い商品等を、本商談会を通じて新たな販路開拓や付加価値の創出につなげるとともに、農林漁業者等の所得向上や農山

村漁村地域の雇用創出を促進し、地域産業の活性化を図る目的で開催されました。

⑤ 内容

九州地区において、初の開催となり、九州・沖縄地域より17社の出展(うち宮崎県は5社)と全国各地から96社のバイヤーの参加の下、2日間に渡り1552件もの商談が実施されました。

本県からの出展者は、本県の特長を活かした加工商品を限られた時間で積極的な売り込みを行い、今後の新たな販路開拓が期待されるそうです。

また、商談会に先立ち「地域産品販路拡大のカギ」をテーマとして、㈱フェリシモ顧問でカリスマバイヤーの早崎昭夫氏によるシンポジウムが開催され、「地域の資源(一次産物)を活用し、新たな付加価値が与えられた産品の販路開拓による地域活性化のポイント」と題して講演されました。



【全体商談会】



【6次産業化商品サンプルによる商談】

**「みやざき農商工連携求評会  
2013」の開催  
(県域での取組)**

- ① 日程…平成25年2月6日(水)
- ② 主催…宮崎県産業支援財団 (共催…公社)

- ③ 会場…宮崎観光ホテル
- ④ 目的…

県内の食品等製造業者及び農林漁業者が、新商品や開発中の商品について、流通・小売・飲食など各分野の専門家から「売れる商品」づくりに向けたアドバイスを受けることを目的に開催されました。

⑤ 内容

今回は、6次産業化に取り組む農林漁業者も初めて出展され、県内から19社の出展者(うち6次産業化実践者8社)が各々の新商品を持ち寄り参加されました。講師には、県内外の食品流通会社役員、スーパーマーケット役員、シェフ、パティシエ、デザイナー等のプロの専門家を迎え、それぞれの新商品等に対して51件の求評が実施されました。

出展者は、プロから洗練されたアドバイスを受け、今後の「売れる商品」づくりのレベルアップに繋いでいきます。

## みやざき6ジカ



みやざき6次産業化  
マスコットキャラクター

「アグリビジネス関連企画展」の開催（県域での取組）

- ① 日程：平成25年2月20日（水）  
3月3日（日）
- ② 主催：宮崎県立図書館  
（共催：公社）
- ③ 会場：宮崎県立図書館



【各分野の専門家による商品求評】



【専門家による個別アドバイス】

④ 目的

1日約2千人の来場者が訪れる県立図書館で、県内における6次産業化等の取組事例や農林水産加工食品を広く県民に紹介し、県内のアグリビジネスに対する関心と理解の醸成を図ることを目的に開催されました。

⑤ 内容

図書館1階ロビーにおいて、県内のアグリビジネスの37事例（6次産業化：21事例、農工商連携：2事例、企業からの農業参入：4事例、農山漁村女性起業グループ：10事例）の経営概要や取組内容、加工商品等を紹介しました。



【6次産業化実践事例の紹介】



【県立図書館1Fロビーでの展示】

「東臼杵地域農工商連携・6次産業化セミナー」の開催（地域での取組）

- ① 日程：平成25年1月24日（木）
- ② 主催：東臼杵地域農工商連携  
ビジネスバンク推進会議  
（共催：公社）
- ③ 会場：延岡市社会教育センター
- ④ 目的  
地域活性化策として、農工商連携や6次産業化が推進される中、更なる取り組みへの誘導が必要な地域もあるため、知識の普及や事例の紹介を通して、6次産業化を図る上での意識向上を目的に開催されました。
- ⑤ 内容  
東臼杵管内の農林漁業者や関係機関・団体を対象に、当公社から6次産業化に係る制度・仕組みや県内の取組事例を紹介するとともに、杉田浩一6次産業

化プランナー（社）宮崎県JA食品開発研究所理事）より「6次産業化における商品開発と販路開拓」と題して提言をいただきました。また、会場には県内の6次産業化で開発された加工商品のブースを設け、取組事例を紹介しました。



【6次産業化セミナー】



【6次産業化による商品紹介】

【新農業支援課】

新規就農事例コーナー

**施設ピーマン栽培 15a**  
**新富町 石砥地区**  
**山本 智史氏 27歳**



山本さんは平成22年9月に就農し、新富町で15aの施設ピーマン経営を一人で行っています。

ます。広島出身の非農家でしたが、学生時代に農業を始めたのと考えるようになり、卒業後、自営就農を目指すため県外の農業大学校に進学しました。

新富町へ就農したのは、農業大  
 学校在学中に40日間の農家研修が  
 あり、その時に新富町のピーマン  
 農家、福山三義さん宅で研修を受  
 けたのが、きっかけだったそうで  
 す。

その後、本格的に本県で就農す  
 ることを決意され、卒業後、平成  
 21年4月より、研修受入していた  
 だいた福山さんの元でさらに一年  
 間研修し、就農しました。

就農にあたっては、土台がなにも  
 ない状態から農地、施設等の確  
 保を行いました。農業経営を一人  
 で行うのは様々なリスクを伴うた

め、これらを確保するためには、  
 実現性の高い計画を示すことや、  
 周りから信頼を得ることが不可欠  
 です。山本さんは研修先の福山さ  
 んや関係機関の協力を得ながら、  
 こうした課題をクリアした上で、  
 就農施設等資金や経営体育成交付  
 金新規就農者補助事業を活用し経  
 営を開始しました。

就農後も周辺農家や地域の方々  
 から、指導や作業の協力を得なが  
 ら取り組んでいるそうです。

20代で県外から新規参入し、一  
 人で自営されている方は少ないた  
 め、これから就農を検討している  
 方の視察対応や体験談を語ってい  
 ただくなど、公社の就農相談活動  
 にも一役買っていたいておりま  
 す。

今年就農3年目、広島のご家  
 族が宮崎に移住される計画も進行  
 中とのこと、これからも一緒に  
 宮崎の農業を盛り上げていただけ  
 ればと思います。



【視察対応の様子】

平成24年度 新規就農セミナーを開催しました！



【熱のこもった研修風景】

3月10日、県総合農業試験場で  
 研修生など51名参加のもと、就農  
 セミナーを開催しました。今回は  
 就農2〜3年目の先輩から生の声  
 を聞くとともに、意見交換に加え  
 て、試験場視察や、研修生の個別  
 相談タイムも盛り込んだ企画とし  
 ました。

丁度この時期は、昨夏の研修開  
 始から半年が過ぎ、皆さん就農の  
 課題からその後の生産・生活につ  
 いて、いろいろ悩みを抱えておら  
 れる時期です。このため、試験場  
 内の視察から先輩方の発表、意見  
 交換まで、時間をフルに使って熱心  
 な質疑が交わされました。とりわ  
 け、技術・農地・労力・資金確保  
 に係る「コツのコツ」には皆さん  
 関心が高いようで、いろいろな立

場からの助言、提案など出される  
 と、多くの方々がうなずいておら  
 れました。また、日常生活におけ  
 る家族の役割分担や、人・地域と  
 のつながり、活動など普段から心  
 がけるべき話題にも話しが広がり  
 中身も濃く熱のこもった研修会と  
 なりました。

まだまだ発展途上の勉強会では  
 ありますが、研修生の未来予想図  
 描きや仲間作りに、ちよつとは役  
 立ったのでは、と感じさせられる  
 さわやかな春の一日でした。

就農予定の高校3年生の  
 修学・研修費用を支援します  
 三浦川就農奨学金貸与制度

【高校3年次の修学費用を貸与】

- 資格 県内の高校3年生
- 貸与額等 18万円、無利子
- 返還免除 卒業後2年以上就農した場合
- 返還猶予 進学・研修期間
- 締切 平成25年度基金事業2回目申請まで

(平成25年8月頃まで)

※詳しいことは担い手支援課にお尋ねください。

【担い手支援課】



ストーンピッカーによる小径石礫の除去



スケルトン(格子目)バケットによる大径石礫の除去

【耕作放棄地再生支援事業で石礫除去】

当公社では、耕作放棄地再生支援事業を活用し、耕作放棄地となった農地の再生を図っています。



除去した石礫の一部

- 場 所 えびの市高野地区
  - 面 積 235a
  - 事業費 5,230千円
  - 施工方法
    - ①バックホウ及びスケルトンバケットで大径の石礫を除去
    - ②プラウ、ブラソイラー及びロータリーで耕起
    - ③ストーンピッカーで小径の石礫を除去
- 石礫が多い場合は、これらの作業を繰り返します。

【農地課】

農地造成後の石礫が支障となり、作付作物が限定されることから、耕作放棄の大きな要因となっています。今回は、石礫除去の実施例を紹介いたします。



<http://www.mnk.or.jp/>

ホームページリニューアル!

4月から当公社のホームページを全面的にリニューアルします。今後は、見やすく、適時、適切な情報が提供できるよう努めて参りたいと考えておりますので是非活用ください。アクセスをお待ちしております。ホームページアドレス

【総務課】

行事予定

- ・3/27(水) 定例理事会 宮崎県トラック協会
- ・ " 臨時社員総会 宮崎県トラック協会
- ・4/24(水) 第1回海外販路拡大チャレンジセミナー 宮崎太陽銀行2F大会議室  
14:00~16:50  
主催:宮崎太陽銀行  
共催:公社、農業会議、法人協会
- ・5/11(土) 宮崎県ふるさと就職説明会 福岡市:天神ビル11F
- ・5/18(土) 宮崎県ふるさと就職説明会 東京都:都道府県会館1F
- ・5/25(土) 宮崎県ふるさと就職説明会 大阪市:大阪駅前第3ビル17F

公益社団法人 宮崎県農業振興公社  
 宮崎市恒久一丁目七番地十四  
 TEL (0985)5112001  
 FAX (0985)5118006  
 HP <http://www.mnk.or.jp/>

発行

